

ATRANS第18回年次大会への参加

2025年8月29日

■ ATRANS 第18回年次大会について

ATRANS (Asian Transportation Research Society) は、2008年に設立された、研究支援を目的とした非営利組織で、これまでに17の研究プロジェクトを支援してきた。会長にはタイ交通省検査総長のChula博士が就任している。

2025年8月29日に、Asian Transportation Research Society (ATRANS) 第18回年次大会がATRANS主催および国際交通安全学会 (International Association for Traffic and Safety Sciences, IATSS) との共催により、タイ・バンコクのChatrium Grand Bangkok Hotelで開催された。当研究所 (アセアン・インド地域事務所を含む) からは職員2名が参加し、そのうち研究員1名が招待講演を行った。

今回の大会のテーマは「将来のモビリティと生活様式を形成する運輸革新」であった。本大会の目的は、タイ国内外からの講演者、研究者、意思決定者、政策当局者、実務者、NGOなどが集まり、意見・アイデアを交換することにより、持続可能な方法、特に運輸の革新及び技術が生活様式や道路交通安全に与える影響について議論することである。

開会式には、タイ王国法制委員会委員のアーコム当研究所研究アドバイザー等が参加した。開会セッションでは、ATRANS第一副会長のPassakon博士、国際交通安全学会の河合専務理事、そしてATRANS会長兼東経済回廊室事務局長のChula博士が順次開会挨拶を行った。また、バンコク都庁 (Bangkok Metropolitan Administration) の副知事であるWisanu准教授は、「革新が将来のモビリティとバンコクの生活様式を如何に形成するか」と題した特別講演を行った。

■ 招待講演 (オンライン) の概要

当研究所の藤崎主席研究員・研究統括は、午前中のセッション1「将来のモビリティと生活様式を形成する運輸革新」にオンラインで参加し、「AI活用による高齢者のモビリティ確保-日本の事例研究」(原文は英文)と題して、当研究所で実施した共同研究調査「高齢者等の移動手段確保方策」(2021~2024年度)を基に招待講演を行った。この講演は、Chulalongkorn大学建築学科のApiwat教授によるモデレートのもと、日本において自家用車に代わるモビリティの確保が求められる背景と、AIを活用したデマンド交通が仮説として想定されることを説明した。また、福岡県福岡市壱岐南地区 (大都市近郊)、福島県郡山市 (安積地区を含む地方都市)、岡山県久米南町 (過疎地域) の3事例について、うち2事例はAIを活用しており、残り1事例は将来的にAIの活用が見込まれる事例として比較・整理し、その分析と提案を発表した。

3. RESULTS Findings from Case Studies

A) Large city suburb

- AI-based reservation/dispatch system enables high transport capacity of 70 daily rides per vehicle.
- Increasing the number of vehicles can improve efficiency of matching reservation and pickups/drop-offs.
- Sponsorship from local stores, etc., can balance income and expenditure.



Source of photo: JTTRI

藤崎主席研究員の発表資料

当該セッションのパネルディスカッションにおいて、モデレーターからの「AIシステムの高額な費用をどうカバーするか」という問いに対し、藤崎主席研究員は、「AI活用デマンド交通システムの導入費用を市町村が助成するか、公共保有の当該システムを貸付ける」との提案を補足して、「大都市近郊の壱岐南地区の事例では、地域内の店舗と事業所から協賛金を得ている。過疎地域の久米南町の事例では、市町村が事業者に行行を実質的に委託している」と述べた。また、モデレーターは、地方都市の郡山市の事例において、定額制 (サブスクリプション) によりタクシー運転手の給与が安定し、事業継続に効果的であると評価した。



質疑対応する藤崎主席研究員

「高齢者等の移動手段確保方策」に関する研究調査の成果は、運輸総合研究所のWEBページでご覧いただけます。
https://www.jttri.or.jp/research/transportation/the_elderly_transportation.html

